

第5期みやぎ観光戦略プランの令和6年度の実施状況について【概要版】～みやぎ観光創造県民条例第12条に基づく報告～

①計画の位置づけ ■「みやぎ観光創造県民条例」に定める観光振興に関する基本計画 ■「新・宮城の将来ビジョン」の分野別計画

②計画期間 令和4年10月から令和7年3月まで

③計画の基本理念 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応とともに、デジタル変革を進め、地域内外から選ばれる持続可能な観光地域づくり

④令和5年度事業の実施状況 【事業数】延べ事業数 280 (総事業費 6,280,132 千円) [再掲・道路整備・回復戦略除く] 事業数 108 (1,916,372 千円)

⑤5つの観光戦略プロジェクトの具体的な取組 (令和6年度実施事業)

回復戦略

感染症により落ち込んだ観光需要の回復【55事業・1,292,154千円】

(1) 安全・安心の機運醸成と可視化による選ばれる観光地づくり (2) 回復フェーズに応じた取組推進と観光資源の魅力の再発見

- ▼みやぎ観光デジタルプロモーション事業 (観光戦略課・24,736千円)
インバウンド回復のため、旅行者の需要に合わせたプロモーションを実施した。
- ▼小規模宿泊施設普及拡大事業 (観光戦略課・12,720千円)
宿泊ニーズに対応するため、小規模宿泊施設事業者を対象にしたセミナーを開催した。
- ▼観光地の空間的魅力創出事業 (観光戦略課・29,266千円)
観光庁の補助事業に採択された民間事業者を対象に県から嵩上げ補助を行い、宿泊・観光施設等の改修に係る取組を支援した。(2自治体 18施設)
- ▼宮城ワーケーション情報環境整備推進事業 (観光戦略課・1,379千円)
ワーケーションの普及を図るため、ワーケーション施設等の情報を一元化したサイトで情報発信を行った。



観光地の空間的魅力創出事業

成長戦略1

魅力あふれる観光地づくり【94事業・1,576,086千円】

(1) 特色ある地域資源の発掘・磨き上げと観光コンテンツの充実
(2) 観光に対する地域住民や旅行者の意識醸成
(3) 震災の経験を生かした復興ツーリズムや教育旅行の展開

- ▼教育旅行誘致促進事業 (観光戦略課・85,739千円)
教育旅行希望者の相談や受入調整等のマッチング支援を行っただけでなく、北海道、関東以西等でプロモーションを実施したほか、教育旅行で来県する学校に対し、バス利用経費の一部を助成した。
(マッチング支援：173件・延べ5,991名、教育旅行バス助成：352件)
- ▼観光地域づくりチャレンジ事業 (観光戦略課・6,734千円)
地域資源を活用した観光コンテンツを造成したほか、PR動画の作成やSNS等を活用した情報発信を行った。
(【石巻】3種類の石巻圏域橋カードの作成、【北部】ガイドマップの多言語翻訳、【仙南】周遊スタンプラリーの開催(23施設)等)



令和6年12月に開通した出島大橋の石巻圏域橋カード

成長戦略2

観光産業の体制強化【44事業・764,479千円】

(1) 地域経済循環力の強化
(2) 地域を支える観光人材の育成・確保

- ▼未来を担う観光人材プロジェクト (観光戦略課・5,741千円)
旅館、ホテル等での就業希望の学生等を対象に説明会を開催し、宿泊施設での実習体験を経て、就労のマッチングを支援した。(マッチング数：3人)
- ▼フィルムコミッション推進事業 (観光戦略課・2,044千円)
映画、テレビ番組、コマーシャル等のロケーション撮影に関する誘致の取組を支援した。
(せんだい・宮城フィルムコミッションにおける支援件数：194件、撮影実績：45件)



就業希望者対象の説明会

成長戦略3

受入環境の整備促進【25事業・865,549千円】

(1) 旅行者の安全・安心確保
(2) 多様化する旅行者の受入環境整備

- ▼みやぎ観光戦略受入環境基盤整備事業 (観光戦略課・165,283千円)
観光客の安全な利用に配慮した自然公園施設の整備や広域観光案内板の整備を進めた。
(蔵王町と七ヶ宿町の登山道や遊歩道を整備、蔵王町と川崎町の広域観光案内板の盤面を整備)
- ▼外国人観光客受入環境整備促進事業 (観光戦略課・7,969千円)
デジタルサイネージの導入や多言語での施設紹介動画の作成など、他の宿泊施設等のモデルとなるような先進的な外国人観光客受入整備の取組を支援した。(4事業者)



七ヶ宿町の自然公園施設整備

成長戦略4

戦略的な誘客プロモーション【62事業・1,781,864千円】

(1) 旅行者のニーズやターゲットに応じた戦略的プロモーション
(2) 東北各県や東北観光推進機構等と一体となった広域周遊観光の促進

- ▼多賀城創建1300年記念事業 (観光戦略課・77,167千円)
ナイトタイムエコノミーの拡大を図るため、多賀城政庁跡において、3Dホログラムによる正殿復元のほか、南門、南大路等のライトアップ、コンサートやグルメイベントを実施した。(来場者数：約5万人)
- ▼東北観光推進機構等と連携した広域観光の取組強化 (観光戦略課・18,500千円)
大都市圏や海外から東北への誘客を図るため、東北各県や東北観光推進機構等と連携し、東北が一体となった観光プロモーションの展開などの取組を行った。
(東北の新しい旅行スタイル創出プロジェクト「Base!TOHOKU」の実施、台湾で東北PRイベント「日本東北遊楽日」を実施)



多賀城創建1300年記念イベント

⑥数値目標に対する達成状況 ※ () は回復目標に対する達成状況

目標指標	実績値 (令和元年)	実績値 (令和3年)	実績値 (令和4年)	実績値 (令和5年)	速報値 (令和6年)	第5期プラン目標値 (令和6年)	
						回復目標	成長目標
1 宿泊観光客数	989万人泊	584万人泊	778万人泊	943万人泊	988万人泊 (99.8%)	990万人泊	1,040万人泊
2 外国人観光客宿泊者数	53.4万人泊	3.6万人泊	5.9万人泊	51.4万人泊	73.4万人泊 (146.8%)	50万人泊	70万人泊
3 観光消費額 (観光庁共通基準による観光客入込統計)	3,989億円	2,624億円	3,117億円	3,985億円	4,525億円 (113.4%)	3,990億円	4,200億円

⑦基本計画の実施状況 (総括)

- 震災から14年目となった令和6年度は、「新・宮城の将来ビジョン」4年目に当たり、ビジョンで掲げた「宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス産業の振興」を基に、280事業を積極的に推進した。
- 令和6年の目標指標の達成状況については、宿泊観光客数が、988万人泊(回復目標比99.8%)を記録し、回復目標と同水準まで回復した。他の指標について、外国人観光客宿泊者数が73.4万人泊(成長目標比104.8%)、観光消費額が4,525億円(同107.7%)となり、成長目標以上の数値となった。
- 具体的な取組については、国内観光客向けには、みやぎ応援ポケモンである「ラプラス」を活用したスタンプラリー等の周遊施策の実施やみやぎのお酒を活用した「コト消費」ツアーの造成等、積極的な誘客プロモーションにより県内周遊の促進を図った。また、無線LAN機器の設置や外国語表記の整備等への支援を行い、受入環境整備の充実に取り組んだほか、インバウンド向け多言語ホームページ「Visit Miyagi」にて、デジタルを活用した本県の魅力発信を行った。
- インバウンドを中心とした観光需要が増加したことに伴い、誘客プロモーション等を積極的に行った結果、第5期みやぎ観光戦略プランで掲げた成長目標を超える目標指標があった。観光業を取り巻く環境が好転しているものの、ゴールデンルートである東京、大阪、京都と比較してインバウンドの全国シェアが低い状況にある。県としては、都市部から地方部への誘客促進のために、地域資源を活用した観光コンテンツの造成や、これらのコンテンツを組み合わせる広域周遊ルートの造成、宿泊施設等の高付加価値やナイトタイムコンテンツ等の滞在コンテンツの充実などに積極的に取り組んでいく必要がある。